

令和3年度 全国へき地・小規模校教育研究大会宮崎大会を目指して

宮崎県へき地・小規模校教育研究連盟

会 長 横田 浩

(高原町立後川内小学校 校長)

本連盟は、県内のへき地校や複式学級を有する学校を加盟校としており、「各教育機関との連携を密にし、本県へき地教育の振興、複式指導の充実、小規模学校教育の充実・発展を図ること」を目的としています。県内を10地区に分け「支部」を編成し、支部の代表校の校長10名で月1回程度の支部長会を行っています。また各支部においても各支部の計画で、授業研究会や研究発表・情報交換会や協議等が行われています。さらに、隔年で県へき地・小規模校教育研究大会を行っており、県内のへき地・小規模校の教育活動充実のために、これまでも多くの先生方が携わってこられました。

本会は全国へき地教育連盟に加盟しており、全国各県に置かれている同様の会とともに、全国組織の一端を担うものとなっています。また、「九州ブロック」が沖縄県を含む8県で組織されています。全国大会が各県持ち回りで毎年行われ、九州ブロック大会も、九州の各県持ち回りで毎年行われています。本年度は、九州大会（福岡県）で小林市立幸ヶ丘小学校が研究発表を行っていただきました。次年度は延岡市立島野浦小学校が全国大会（富山県）、九州ブロック大会（佐賀県）で研究発表の予定です。

さて、本年度の長野大会、次年度の富山大会に引き続いて、令和3年10月28日から29日には宮崎県を会場として、九州ブロック大会・宮崎県大会も兼ねた、第70回の全国大会を2日間に渡って行います。宮崎市のシーガイアコンベンションセンターが全体会・分散会の会場となります。また、日南市立細田小学校・都城市立縄瀬小学校・小林市立須木中学校・西米良村立村所小学校・西米良村立西米良中学校・美郷町立美郷南学園・延岡市立方財小学校・五ヶ瀬町立三ヶ所小学校の県内8校が分科会会場として授業研究会・研究発表等を行う予定です。全国・県内の多数の参加者を想定して昨年度から準備を進めています。へき地・小規模校の研究大会ではありますが、現在平地校に勤務される先生方にとっても有意義な大会になると確信しています。特に、これから様々な経験をされるであろう経験の浅い先生方にぜひ大会に参加していただき、教育の原点と言われるへき地・小規模校の指導から多くのことを学んで欲しいと思っています。

本年度は、全国へき地教育研究連盟が示した第9次長期5か年計画の初年度となり、研究主題「ふるさとに夢や誇りをもって未来の創り手となる子どもの育成」、副題「～へき地・複式・小規模校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実を目指して～」を掲げ研究がスタートしました。長野で行われました全国大会、福岡で行われました九州大会ともに主題に沿った、地域色あふれる、かつ日本の未来や子ども達の成長した姿を想像させられるものでした。宮崎県内の会場校でもこの主題の具現化に取り組み始めたところです。

現在、学校にも教育そのものにも課題は山積していますが、決して憂いばかりをもって語られるものではないと信じています。2年後の宮崎大会が、へき地・小規模校を問わず本県教育の振興・充実の大きな基点となるよう、今後とも皆様のご協力・ご支援をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、本会推進にご支援、ご協力いただいている関係機関、関係者の皆様に深く感謝いたします。